

茶畑 *SR times*

学術研究Iテーマ設定発表会が令和4年2月5日(土)の1~2校時に開催されました。今回の発表会は、学術研究Iが始まり新たに編成された班で決定した研究テーマを、同ゼミの76回生や75回生、TAの先輩方に発表する場でした。事前準備の段階で75回生と合同ゼミが行われ、多くの班が先輩方の指導を受けて万全の状態で臨むことができたと思います。質疑の時間には以前より76回生の発言が多く見られ、成長していることが実感できました。以下、副ゼミ長の手による発表会の記録より抜粋して、各ゼミの発表会の様子を掲載します。

物理ゼミ

発表後の質疑応答では質問が絶えることなく、多くの班がその質問に対して適切に回答していた。発表後に班内で改善点について話をしている班もあり、今後につながる有意義な時間であった。大きなものから小さなものまで様々なテーマについて研究しているが、いずれの研究においても社会に大きな影響を与える可能性がある。今後の実験ではより正確に実験を行い、結果を出そうと思った。

生物ゼミ

先輩方からのアドバイスを挙げると、「文献をしっかりと調べる。簡単に手に入る資料に本当に信用性があるのか調べることも大切だ。想定していないこともよく起こるから、実際に実験をしてみないとわからない。実物に触れることが、実験することの楽しみである。」というものだった。

地学ゼミ

すべての班がパワーポイントを効果的に用いて発表を行った点や、原稿を見ずに発表した点から、事前に入念に準備を行ってきたことが感じられた。2年生からは様々な質問を通して助言やアドバイスをいただくこともでき、大変有意義な時間となった。どの班も自分たち各々の視点では気付くことのできなかつた問題点を今回の発表会を通して発見することができた。

数学ゼミ

研究方法の矛盾や設定数値の具体的な根拠など、鋭い質問が先輩方から多く出され、我々の今後の研究につながる良い発表会になった。質疑応答の受け答えもスムーズに行われていた。発表後の先輩方のアドバイスの時間には、今後の研究につながる貴重なお話をいただいた。

情報ゼミ

※情報・音楽・家庭ゼミは合同開催

発表を行っているとき、話し手はできるだけ原稿を見ず、聞き手の方を見るようにしていた。聞き手は話し手の方を見たり、手元の資料を深く読み込んだりして、真剣に話を聞くという姿勢が見られた。質問がすべての確であり、それに対する回答も的確を射たものだった。

国語ゼミ

全体的に質問や助言が多く出され、発表者にとって有意義なものになったと思う。研究方法をもう一度練り直すべき班もいくつかあったので、今後の学術の時間で、班内で熟考した方がよいと思った。



地歴ゼミ

- ・スムーズな進行で、質疑応答も活発であったが、質問者が特定の人だった。
- ・先輩方からの質問で今後の研究に活かすことができる内容を改めて確認できた。また、先生方から、結果だけでなく自分達の知的好奇心を満たせるような研究をしてほしいとお言葉を頂いた。

英語ゼミ

- ・多くの班が原稿を見ずに発表していて、当日まで試行錯誤しながら一生懸命準備してきた様子が伝わってきた。
- ・先輩方、先生方からは、先入観にとらわれている、言葉の定義が曖昧になっているところがある、などといった講評を頂いた。

音楽ゼミ

※情報・音楽・家庭ゼミは合同開催

- ・レジュメの配布ミスがあり、少し時間にルーズだった。また、動画を流すのに手間取ってしまい、発表時間をオーバーしてしまった。
- ・どの班も質疑が少なく、先輩方や先生方に頼らず、1年生からも積極的に質問し、答える姿勢が大切だと感じた。

家庭ゼミ

※情報・音楽・家庭ゼミは合同開催

- ・練習時に先輩方から頂いたアドバイスを意識して発表ができた。
- ・発表会の雰囲気としては、ゼミ長に会場運営を任せ過ぎだったのではないかと感じた。そのため、今後は全員が程よい緊張感を持ち、視野を広く持つて、柔軟な行動をできるようにしたい。

公民ゼミ

- ・発表者は原稿を見ずに話し、聴衆は真剣に聞くことができていた。
- ・質問は主に2年生の先輩からで、テーマ設定の難しさを知っているからこそ、指摘は鋭く、ためになるものだった。

災害研究ゼミ

- ・自分たちの研究について聴衆に伝わりやすいようにする工夫が見られ、先輩方の助言から今後の課題が見つかる有意義な時間だった。
- ・「原稿を覚えきれていない」「言葉を自分のものにできない」といった改善点があった。

保体ゼミ

- ・スライドを上手く活用したり、ジェスチャーをしながら説明をしたり、よりよい発表にするための工夫が見られた。
- ・「質問の質が高かった」「意義や肝となる部分がレポートにきちんと記載されていてよかった」という講評をいただいた。



編集後記

今回のテーマ設定発表会は、先輩方や先生方から研究についてのアドバイスを頂ける貴重な機会でした。これからは今回発表したテーマを基に研究を進めていくことになります。頂いたアドバイスを参考に、春休みなどを有効活用し、計画的に研究を進めましょう！